



## 授業研究における「技術的実践」と「反省的実践」

新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見通せず教育活動における制約が多い中、各学校におかれましては、子どもたちの健やかな成長を願った創意あるきめ細かな指導・支援にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて、この時期になると、新年度の研究テーマのもと校内研修が始まっていると思われます。校内研修の充実、授業研究のサイクルで教師の指導力を高め、また学校力を高めるために研究を進めていることだと思います。ところで、授業改善を図るための校内授業研究はどのように進めているのでしょうか。

### 1、子ども主語へのパラダイム転換

「主体的・対話的で深い学び」とは授業改善のための視点だと、中教審は記述しています。では、授業改善のために実施されている授業研究で主体的・対話的で深い学び、すなわち教師主語から子ども主語へのパラダイム転換はどのように図られてきたのでしょうか。その転換は、学習指導要領よりも早く、1990年代よりその取り組みが見られます。

佐藤学氏が1996年に稲垣忠彦氏と共著した『授業研究入門』（岩波書店）に次のような文章があります。「これまで受動的な位置におかれてきた子どもの学びに能動的な位置づけを与え、伝達と習得という閉じたシステムにおいて構成されてきた授業と学びを、対象（教育内容）の意味を構成し人と人との関わりを構成する多元的で重層的で力動的な実践として再構成する転換として見る事ができる」。佐藤学氏が旧来の授業研究のあり方の転換を求めた文脈と、教師主語から子ども主語への転換という、コペルニクスの転換を示した学習指導要領改訂の文脈は一致しています。

相違点は、佐藤学氏は教師主語による旧来の授業研究を否定的に捉えているのに対し、中教審はこれまでの取り組みを認めながら改善の視点として子ども主語の「主体的・対話的で深い学び」を提案していることです。

### 2、「技術的実践を志向する研究」と「反省的実践を志向する研究」

「技術的実践を志向する研究」とは、どの教室にも通用する一般的な技術的原理を追求する研究です。教育研究所、学校で行っている「仮説検証型」の研究がこれに該当します。

「〇〇において、△△を□□することによって、☆☆になるであろう」というような、どの教室でも通用する原理原則を探求する研究です。

ところが、このような研究だけでは十分とは言えないということを佐藤氏は指摘しています。佐藤氏は授業開始間もなく子どもの口が重くなり、指名なしには沈黙が続いてしまう初任者の授業を取り上げています。

一方、熟達教師の授業では授業の冒頭段階で子どもは見通しを獲得し、独自の思考を展開させ、それをクラスの中で交流させていると、述べています。佐藤氏は熟達教師と初任教師の比較研究で、熟達教師は授業の流れに従い、状況を把握し、多様な即興的思考を行っていること、初任者はこれらの思考が弱く、熟達教師が教授の問題と子どもの学習問題の両方を多元的に把握しているのに対し、初任教師はいずれか一方に言及が偏っていることを指摘しています。これは熟達教師と若手教師の相違だけではありません。

例えば、一つの授業について、二人の教師が共同で教材研究を行い、学級の雰囲気似た二つのクラスで、同じ指導案・同じ資料を用い、同じ発問で授業を行ったとしても、二人の授業は全く異なったものになってしまうことが、実際には起こります。授業場面における子どもの見取りや子どもへの接し方等の違いにより結果が変わってくるという状況がでてきます。

そこで、「なぜあの場面であの子どもに指名したのか」「なぜあの場面で時間を取って子どもたちに考えさせたのか」「なぜあの子どもはあのような発言・行動をとったのか」等、実際に教室で起きた出来事に目を向け、教師や子どもの活動・経験の意味を探っていく必要が生じてきます。これが「反省的実践を志向する研究」です。

学校の授業研究では、「技術的実践を志向する研究」と「反省的実践を志向する研究」の二つの視点をもちながら推進していく必要があると言えます。

研究会の協議の話題は、研究仮説や手立てについてが大部分です。それは、授業に関する一般化された原理を探求することに該当します。（技術的実践）。それと同時に、ある特定の条件（〇〇学級だから、△△先生だからという固有の条件）のもとに生じた出来事についても協議し、そこに教育的な意義を見出していかなければなりません。（反省的実践）。

研究会では、「校内の研究テーマに関すること」（技術的実践）と、「それ以外のこと」（反省的実践）の2つの視点から協議していくことが大切になります。

## 研修 6月 教育研究所事業予定

7日 (月)	教育法規講座Ⅰ	研究所会議室
10日 (木)	初任研拠点校指導教員協議会②	中止
11日 (金)	情報教育研修会②	オンデマンド配信
16日 (水)	中堅教諭等資質向上研修③	オンデマンド配信
23日 (木)	慰霊の日	
24日 (木)	初任者研修⑤	オンデマンド配信
25日 (金)	教育法規講座Ⅱ	研究所会議室
30日 (水)	標準学力調査結果説明会(小)	オンデマンド配信

※新型コロナウイルス感染防止等の観点から、オンデマンド配信による研修に切り替えております。各学校におかれましては、視聴の際に、研修者が集中できる環境への配慮に御協力ください。

※オンデマンド研修のための資料の著作権は本市にあります。視聴のための URL や QR コードの取り扱いには、十分に御注意ください。



## 一人一台タブレット端末の活用

GIGA スクール構想に係る Google アカウント配布完了が5月21日付で通知されております。

各学校「GIGAスクール開き」と称して学年単位で、児童生徒への配布をしていることと思います。感謝申し上げます。

さて、GIGAスクール構想に係る情報を教育研究所として発信して行きますので、是非有効にご活用ください。



### 1. 公文等

desknet'sNEO ⇒ ブックマーク ⇒ GIGA関連

### 2. ICT活用講座

desknet'sNEO ⇒ 文書管理 ⇒ 教育研究所 ⇒ 講座テキスト

### 3. ICT教育推進部会

教育研究所 HP ⇒ メニュー ⇒ ICT教育推進部会実践事例